

令和 8 年度 第 1 回富里市まち・ひと・しごと創生有識者懇談会
議 事 録

〔日時〕 令和 8 年 8 月 1 9 日（水）

1 3 : 3 0 ~ 1 4 : 4 0

〔場所〕 富里市役所本庁舎 3 階第 3 会議室

○出席者

- 【委員】 瀬良 光弘（富里市区長会）
（敬称略、委員名簿順） 川北 謙 （まちづくりコーディネーター）
寒郡 茂樹（富里市商工会）〔座長〕
根本 実 （富里市農業協同組合）〔職務代理者〕
坂本 裕子（富里高等学校）
渡邊 薫 （富里市学校専門指導員）
渡邊さとみ（株式会社広域高速ネット二九六）
宮崎 英博（成田国際空港株式会社）〔代理出席〕
- 【事務局】 山崎企画財政部長、根本経営戦略課長、小澤課長補佐
黒田主査補、永作主査補
- 【傍聴者】 なし

○次第

- 1 開会
- 2 委嘱状交付
- 3 市長あいさつ
- 4 委員紹介（自己紹介）
- 5 座長選出
- 6 議題
 - (1) 第 2 期富里市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る令和 7 年度実績の効果検証について【資料 1、資料 2】
 - (2) 第 3 期富里市まち・ひと・しごと創生総合戦略骨子（案）について【資料 3】
- 7 その他
- 8 閉会

会議録

- 1 開会
- 2 委嘱状交付
五十嵐市長から委員へ委嘱状の交付

3 市長あいさつ

4 委員紹介

5 座長選出

- ・座長は、互選により寒郡委員に決定した。
- ・座長の職務代理者は、寒郡委員の指名により根本委員に決定した。

6 議題

- (1) 第2期富里市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る令和7年度実績の効果検証について

【座長】

- ・事務局から説明を求める。

(資料を基に事務局より説明)

【座長】

- ・委員の皆様からご意見等を伺いたい。

【委員】

- ・本校には外国人生徒が多くおり、外国人支援窓口や日本語教室を利用している。その中で、日本語教室を2年間受講した生徒は、日本語能力が上達しており、効果的な取組だと思う。今後も継続して開催していただきたい。
- ・今年度は、キャリア教育の一環として、成田国際空港株式会社に講習をしていただく予定でいる。また、社会福祉協議会と連携した福祉ボランティアは、生徒にとっての体験活動につながっている。
- ・市の社会福祉課とも連携し、結婚・子育てに関する授業を予定しており、様々な広がりが見られていることから、引き続きの取組をお願いしたい。

【委員】

- ・保育所等や学童クラブの受け皿を増やしたことで、待機児童数がゼロになったことは評価できる。
- ・保護者からは、子どもを安心して預けることができるから、安心して働くことができるという声も上がっている。数値目標も大事だが、市民が実感できていることが大切だと考える。引き続き、子育てに関する取組を推進していただきたい。
- ・小・中学校における学力向上と不登校の課題に対しては、市が関係機関等と連携・協力して支援に取り組んでいる。学力向上については、各学校で、教員をはじめ、地域の高校生等により地域ぐるみで学力向上のための取組を行っている。

【委員】

- ・新たな社会（Society5.0）に対応する情報基盤の整理について、当社

でも自治会と連携したスマホ講座を行っており、初級から中級に上がるなどの効果が出てきている。引き続き、自治体におけるDX推進の一助になればと考えている。

【委員】

- ・現在、成田空港の機能強化が進んでおり、完了すると発着回数50万回となる。従業員数も今より3万人程度増加になると見込んでいる。空港周辺市町を中心に雇用確保に向け取り組んでいる。
- ・設定されたKPIは、幅広く、様々な視点から設けられている。商工業や道路関連など、空港が連携・協力できる部分があると感じた。
- ・達成度に関しては、高い評価が出ている取組が多いが、不十分になっている取組でも、空港と連携できるものがあれば協力していきたい。

(2) 第3期富里市まち・ひと・しごと創生総合戦略の骨子（案）について

【座長】

- ・事務局から説明を求める。

（資料を基に事務局より説明）

【座長】

- ・委員の皆様からご意見等を伺いたい。

【座長】

- ・骨子（案）については、素晴らしいものが出来上がっており、取組は継続のままで良いと考える。
- ・国の「骨太の方針（2026）」の中で、「成田空港」という言葉が出てきた。国家プロジェクトとして、富里市を含む空港周辺地域が大きく変わろうとしている。
- ・労働力不足が懸念される中で、外国人労働者はこれからもっと増えることが予想される。それに伴い、市内の外国人も増えていくことになると思われるため、多文化共生の在り方をあらためて考えていく必要があると感じている。

【事務局】

- ・国の「骨太の方針（2026）」で、成田空港が初めて触れられたことから、国策として進められていくという認識をしている。
- ・人材については、日本人だけでは、不足するものと見られる。こうしたことを踏まえ、国では、様々な規制緩和が進められている。国は、外国人を労働者という観点から施策を進めているが、本市では、市民であり、生活者であるため、多文化共生の中で「秩序ある共生社会」への取組を継続して推進していく。

【委員】

- ・以前、成田空港の第三滑走路に関する説明会に出席したが、従業員

数を倍に増やすという話が出ていた。現状、学校の生徒数や若い世代は減っている。空港の機能強化を契機として、人口増加につながることを期待している。

【座長】

- ・社人研の推計では、富里市の人口は4万5、6千となっているが、現状としては、5万人を少し下回っている状況にある。外国人の影響もあるが、市の人口は増加傾向にあるという認識をしている。

【事務局】

- ・市の人口については、5万人前後を維持できている状況にある。
- ・成田空港の機能強化による人口の増加については、近隣市町同様に取組を進めていきたいと考えている。

【委員】

- ・成田空港の機能強化について、空港周辺9市町への経済波及効果は現在の1.8倍程度の2.5兆円を見込んでいる。2023年の成田空港の雇用に関する調査では、従業員数は3万6千人であったが、今後7万人の雇用が必要になるという試算が出ている。
- ・その労働力の受け皿として、富里市を含む空港周辺9市町に期待をしているところである。また、金額以外の部分でも、地元企業の成長や雇用の創出、観光客の増加など様々な効果があると見込まれるので、連携・協力していきたいと考えている。

【委員】

- ・日吉台地区は、実感として空港関連の勤務している人が多い。
- ・外国人の研修施設があることから、外国人の出入りが多い。自治会のイベントに参加してもらうなどの交流を行っている。

【座長】

- ・委員の皆様からの貴重な御意見ありがとうございました。
- ・第3期富里市まち・ひと・しごと創生総合戦略の骨子（案）については、事務局（案）のとおりとしてよろしいか。

（異議なし）

- ・異議がなかったことから、事務局（案）のとおりとします。

7 その他
特になし

8 閉会